



足立区の銭湯



江戸時代、日光道中の最初の宿場「千住宿」があったことで知られる足立区は、関東大震災以降多くの人が移り住み、戦後には集合住宅が増える中で銭湯が次々と開業しました。ピーク時の昭和40年代には155軒あった銭湯も、現在は25軒に減少しましたが、今でも個性的な銭湯も多く、さまざまな企画やイベント等で盛り上がりを見せ、区内外の銭湯ファンの注目を集めています。

◆25軒ある銭湯はレトロ調からデザイナーズ銭湯までバラエティ豊か

- 4 「大平湯」
- 11 「堀田湯」
- 22 「梅の湯」
- 23 「タカラ湯」

建築家の今井健太郎さん設計によるデザイナーズ銭湯の全国的な先駆け。バリアフリーの大浴場、水中ウォーキングができる歩行湯（女湯）、大きな和風露天風呂（男湯）を備え、銭湯というより大型入浴施設のように。オーブンキッチンも併設され、湯上がりにはビールなどのドリンクとご主人が腕をふるう料理も味わえます。



■大平湯 青井6-21-3
月曜休（祝日の場合は翌日）
14時30分～23時55分
（日曜は8時～12時、15時～23時55分）

浴室の壁面には葛飾北斎の「桜花と富士図」のタイル絵、もう一方の浴室には歌川広重の名所江戸百景「千住の大はし」のタイル絵が描かれ、その美しさに圧倒されます。薬草サウナ、都内銭湯随一の広さを誇る露天風呂、寝風呂、電気風呂、ボディマッサージ風呂なども。男湯と女湯は定期的に入れ替え制。



■堀田湯 関原3-20-14
第2木曜休 14時～24時
（土日祝日は8時～）

北千住駅東口から徒歩1分。昭和30（1955）年頃に建てられた純和風建築で、浴室の壁面には富士山のペンキ絵が描かれています。お湯の温度は冬44度、夏43度と高めですが、深井戸から汲み上げた地下水を使用しているため、「湯切れが良く肌がモチモチする」と好評です。



■梅の湯 千住旭町41-11
不定休（主に日曜）
平日16時～23時30分
（土日祝日は16時～23時）

千鳥破風の風格ある構えが目を引く昭和2（1927）年開業の銭湯。「キングオブ縁側」「キングオブ庭園」と呼ばれる日本庭園があり、錦鯉と四季折々の花を楽しめます。庭園側の浴室は毎週水曜日に男女入れ替え。よく温まると評判の薬湯、ゲルマニウム、超音波風呂、電気風呂あり。サウナは無料。ペンキ絵は「富士山」。



■タカラ湯 千住元町27-1
金曜休 15時～23時

足立区銭湯MAP



入浴料金：大人500円、中・高校生300円、小学生200円、幼児100円
 毎月第1・3土曜の「親子ふれあいの日」は小・中学生同伴の大人は400円、中・高校生は300円、小学生は120円、幼児無料

▼足立区浴場組合が発行する全国唯一の銭湯のフリーペーパー「銭湯といえは足立」2023vol.84より



- | | |
|---|---|
| <p>1 富士の湯 東和4-15-10 火曜休 14時45分～23時30分
新で沸かしたぬるめの湯が肌にやさしい</p> | <p>13 おきもと湯 西新井本町4-29-24 月曜休 16時～22時30分
番台とペンキ絵があるレトロな雰囲気。日替わり薬湯あり</p> |
| <p>2 めぐみ湯 綾瀬5-20-6 月曜休 14時30分～22時
大きな一層式湯船でゆったりできる。薬湯あり</p> | <p>14 江北湯 江北2-27-6 金曜休 15時～23時
薬湯、炭酸泉、軟水風呂、あつ湯、ぬる湯、ペンキ絵あり</p> |
| <p>3 玉の湯 綾瀬2-37-4 金曜休 14時～22時
肌がしっとりするマイナスイオン水使用。サウナあり</p> | <p>15 星谷浴泉 扇1-34-3 月曜休 15時30分～23時
番台とペンキ絵があるレトロな雰囲気。薬湯あり</p> |
| <p>5 四ツ家浴場 青井3-37-12 火曜休 16時～22時
サウナ、露天風呂、薬湯あり</p> | <p>16 竹の湯 関原1-9-13 火曜・第1水曜休 14時50分～23時30分
7種の内湯、東屋付き露天風呂あり</p> |
| <p>6 松乃湯 保木間5-5-10 水曜休 15時30分～21時
スチームサウナあり。月の最終日はハーブ湯になる</p> | <p>17 明美湯 梅田4-40-21 木曜休 15時～24時
サウナ、男湯プール、北海道二股温泉鉱石使用の人工二股温泉など</p> |
| <p>7 大和湯 島根2-19-7 木曜・第1金曜休 15時45分～21時
草津温泉から取り寄せた薬湯にいつでも入浴できる</p> | <p>18 曙湯 足立4-22-3 木曜休 15時～23時
井戸水を薪で沸かした風呂。サウナ、薬湯、タイル絵あり</p> |
| <p>8 永泉湯 西新井3-10-2 火曜休 16時～22時
スチームサウナ、超音波、薬湯などあり</p> | <p>19 常磐湯 足立4-28-8 火曜・第1水曜休 15時～22時30分
2階が浴場、1階が食事処でゆったり過ごせる</p> |
| <p>9 湯処じんのび 西新井6-43-4 月曜休 14時～24時
(日曜のみ12時～) サウナ、露天風呂、散歩風呂などあり</p> | <p>20 大和湯 柳原2-43-1 水曜休 15時30分～23時
(日曜のみ14時～)「よもぎ」や「じっこう」「紅茶」など多様な日替わり露天風呂が好評</p> |
| <p>10 若松湯 中央本町2-19-11 金曜休 15時～24時
肌がすべすべになる軟水を使用。サウナ、薬湯、純和風岩風呂、タイル絵あり</p> | <p>21 美登利湯 千住旭町25-11 火曜休 16時～23時30分
宮造りの屋根がレトロな雰囲気。湯はやや熱め</p> |
| <p>12 岡田湯 関原3-43-2 月曜休 14時～23時45分
サウナ、軟水風呂、薬湯があり、植物がおしゃれに配置されたデザイナーズ銭湯</p> | <p>24 金の湯 千住柳町36-8 火曜・第1水曜休 15時～24時
サウナ、薬湯、露天風呂、「富士山」ペンキ絵あり</p> |
| | <p>25 ニコニコ湯 千住柳町2-10 木曜休 15時～24時
塩サウナ、薬湯、ミニプール、「青空と大海原」ペンキ絵あり</p> |

◆銭湯を観光資源としたさまざまな取り組みを実践し、まちを活性化

足立区の浴場組合を中心に 銭湯で地域を盛り上げる！

足立区の銭湯を応援する 「足立区アメフロ部。」

JR東日本北千住駅社員が 区内の銭湯で清掃体験

足立区では「銭湯は区の宝」と考えています。銭湯の数は、現在でも25軒と東京23区の中でも比較的多く、一昨年廃業した大黒湯や江戸東京たてももの園に展示されている子宝湯（千住元町にあった銭湯）のように、全国的に有名な銭湯が多いこともその理由です。宮造りの銭湯の代表格であった大黒湯は、地元で銭湯文化を遺したいという地域の人たちの思いから、唐破風屋根の一部が千住にある寺院、安養院に移築されました。



足立区には区内の銭湯25軒で組織する東京都公衆浴場業生活衛生同業組合足立支部があります。足立支部では、銭湯をきっかけに足立区全体を盛り上げようと、区ともコラボしながら数々のイベントを開催しています。



日本の最上位に位置する社会人アメリカンフットボールXリーグに所属し、千住にある帝京科学大学のグラウンドを練習拠点としている電通キャタピラーズ。足立区や区内団体と連携し、練習拠点である足立区を盛り上げる取り組みを行っています。この活動の1つとして、足立区の銭湯を多くの人に伝えるため、昨年6月に発足したのが足立区浴場組合との共同プロジェクト「足立区アメフロ部。」プロジェクト第一弾として動画とポスターが制作されました。「ぼくたちは、銭湯が大好きだ！」というキャッチコピーが楽しいポスターに仕上がりました。区の広報紙ともコラボし、「あだち広報12月10日号」銭湯特集では表紙を飾るとともに、中面では所属選手が銭湯紹介も。「足立区アメフロ部。」による銭湯PR動画も公開中です！



磨き剤で足元が滑りやすいポリッシャーには悪戦苦闘



梅の湯にて撮影されたポスターは、足立区内の各銭湯に掲示



足立区を銭湯で盛り上げるリーダー的存在の若松湯店主・足立支部長の山田知孝さん

あだち銭湯スタンプリーマステリートレインが運行

足立区と足立区浴場組合は、平成30(2018)年と31(2019)年、東武鉄道とのコラボ企画「あだち銭湯スタンプリーマステリートレイン」を開催しました。「銭湯をめぐってミステリー・トレインに乗ろう」というコンセプトで、足立区内の銭湯の中から3軒をめぐり、3つの俳句キーワードを集めると、東武鉄道が運行するミステリー・トレイン「芭蕉の湯号」に乗車できるというもの。「芭蕉の湯号」は、通常は乗客を乗せて走ることのない亀戸大師前間を特別運行し、大師前駅では男湯女湯の暖簾と番台が乗客を出迎えました。銭湯の店主たちが番台に座ったり、お客様誘導係を担当するなど、主催者側も楽しみながら参加者を楽しませる、笑顔あふれるイベントとなりました。



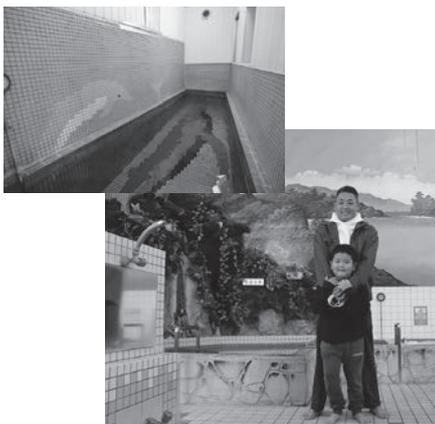
令和4(2022)年10月1日より、足立区のふるさと納税の返礼品に「あだちの銭湯一番風呂貸切入浴利用券」が加わりました。常連さんが並んでも入りたい「銭湯の一番風呂」に貸切で2時間、5名まで入れる利用券で、湯上がりのドリンクやアメニティなどのサービス付です。足立区浴場組合が区内の銭湯25軒の中から好みに近い銭湯をコーディネートしますので、銭湯に不慣れな方でも安心です。第一号ご利用者は子ども用プールがある「ニコニコ湯」に入浴した親子で、店主の好意でボイラー室の見学もでき、楽しかったとの感想をいただきました。詳しくは、「ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」東京都足立区」からご覧ください。

人のつながりと団結力も足立区の「おたから」です

足立区は平成22(2010)年に東京23区初となるイメージアップに特化した専管組織・シティプロモーション課を立ち上げ、「つなぐプロモーション」を展開しています。足立区浴場組合をはじめ、鉄道事業者や企業・団体などをつなぎ、イベントや企画をサポートするなど、官民の垣根を越え、人や組織、事業や資源などさまざまな力をつないでいく取り組みを行っています。「つなぐプロモーション」をはじめ、区内・区民に向けたシティプロモーションに積極的に取り組んできた結果、シティプロモーション課発足当時3割だった区民の「まちを誇りに思う」気持ち(※)が、今では約5割に高まるなど成果が現れてきています。

足立区には「足立区大好き」な人が多く、人と人との結びつきの強さも大きな宝です。今後もつながりと、足立区に対する区民の想いを大切にしながら、魅力の向上を図ってまいります。

※ 足立区世論調査の結果



子ども用プールのあるニコニコ湯で一番風呂



東武鉄道の臨時運行「芭蕉の湯号」大師前駅の改札口が銭湯の番台に



足立区のイメージアップに取り組むシティプロモーション課職員